



事業報告

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類
計算書類

監査報告

マックスレポート



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

マックスは、『人』が尊重され、『人』が成長することにより、会社も成長すると考えており、社是の実現に向けた経営基本姿勢として「いきいきと楽しく力を合わせ、皆揃って成長していく集団を目指す」と定めております。

今年度は、3か年の中期経営計画の仕上げの年でもあり、新たな中期経営計画を立案していく年でもあります。役員・社員一人ひとりが社是を正しく理解・実践し、事業活動を通じて社会課題の解決を図り、株主のみなさま、お客さまをはじめとするステークホルダーとともに持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

引き続き、株主のみなさまの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
黒沢 光照

社 是

- 一、良い製品を責任をもって供給する
- 一、全従業員の生活の向上と
人材の養成に努める
- 一、社会に奉仕し、文化に貢献する
堅実な前進を期する

経営基本姿勢

いきいきと楽しく力を合わせ、
皆揃って成長していく集団を
目指す

1. ガラス張りの経営に徹する
2. 全員参画の経営に徹する
3. 成果配分の経営に徹する

1. 企業集団の現況に関する事項

1 事業の経過及びその成果

当期における世界経済は、緩やかな回復基調が継続しました。

国内は、当社インダストリアル機器部門に関連する住宅着工戸数について、持家が前年に対して減少した一方で、賃貸・分譲が底堅く推移しました。米国は、住宅着工が冷え込んだものの、商業ビルや高速道路など非住宅市場に対する建設投資が堅調に推移しました。欧州

は、ウクライナ情勢の長期化やインフレに対する懸念などから景気を持ち直しに一部足踏みがみられましたが、各国の経済対策などにより緩やかな持ち直しの動きが続きました。

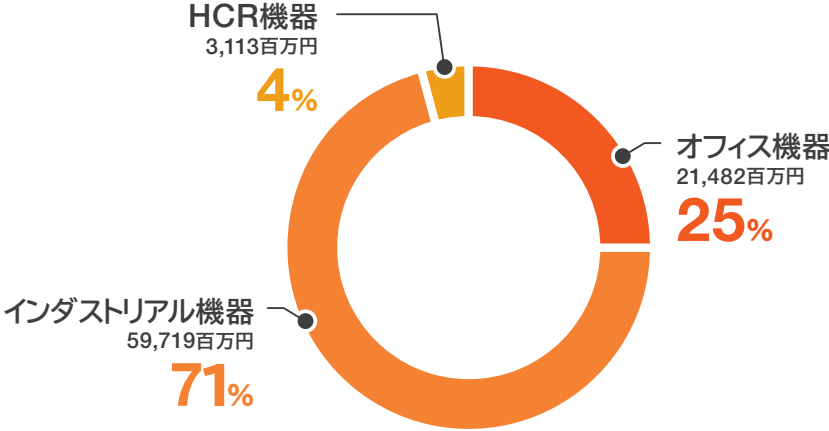
また、原材料価格の高騰や為替の変動が、企業収益に影響を与えました。

このような状況の下で、当期は各セグメントで売上高が増収となりました。特に人手不足と非住宅市場の堅調な市況を背景とする鉄筋結束機「ツインタイア」とその消耗品の好調な推移が、当期の業績を牽引しました。セグメント利益では、オフィス機器部門とインダストリアル機器部門は増益、HCR機器部門は為替の影響などから減益となりました。

売上高は843億1千6百万円（前期比14.0%の増収）、営業利益は99億2千6百万円（同32.4%の増益）となりました。経常利益は105億1千万円（同26.9%の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は76億1千9百万円（同25.1%の増益）となりました。



部門別売上高構成比



部門名		売上高	前期比増減率
オフィス機器	国内オフィス事業	7,450百万円	2.3%
	海外オフィス事業	6,145	32.3
	オートステープラ事業	7,887	19.8
	部門計	21,482	16.0
インダストリアル機器	国内機工品事業	21,312	8.5
	海外機工品事業	27,241	20.6
	住環境機器事業	11,165	8.0
	部門計	59,719	13.6
HCR機器	部門計	3,113	8.3
合 計		84,316	14.0

オフィス機器部門

主要な事業内容

ホッチキス、ホッチキス針、紙針ホッチキス、電動ホッチキス、電動リムバ、オートステープラ、プラスチックリング製本機、ナンバリング、パンチ、スタンプ台、朱肉、タイムレコーダ、タイムカード、チェックライタ、表示作成機、ラベルプリンタ、チューブマーカー、筆耕ソフト、筆耕マシン、平行定規などの製造・販売

国内オフィス事業

WEBセミナーや展示会を活用した提案活動により、表示作成機「ビーポップ」の販売が増加するなど、文字表示機器の販売が増加しました。

海外オフィス事業

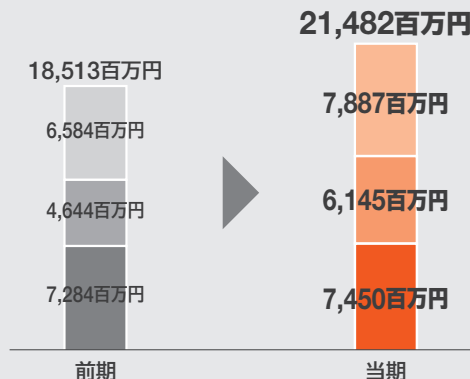
東南アジアを中心に文具関連製品の販売が増加したほか、欧州における営業体制の強化などにより、表示作成機「ビーポップ」の機械・消耗品ともに販売が増加しました。

オートステープラ事業

オフィスへの回帰が進んだことにより機械・消耗品の販売が伸長しました。一方で、第4四半期は、機械・消耗品の販売が鈍化しました。

売上高

■ オートステープラ事業 ■ 海外オフィス事業 ■ 国内オフィス事業



TOPICS

ラベルサポートサービス 「楽ラベサポート」

和洋菓子店やパン屋、弁当・総菜店などの食品小売業における食品表示ラベルの運用をサポートするサービスです。

主なサポート内容は、「ラベルレイアウトの配信」「アプリによる配信状況の確認」「ラベルデータの作成」の3種類で、お客さまが抱えるラベル作成に関わる負担や手間を軽減します。

ラベルプリンタ本体に加えて、本サポートを提供することで、さまざまな形で食品表示ラベル作成を支援していきます。



インダストリアル機器部門

主要な事業内容

釘打機、ガンタツカ、ねじ打機、ステーブル、ネイル、ねじ、エアコンプレッサ、レーザ墨出器、鉄筋結束機、コンクリート用ピン打機、ガスネイラ、ハンマドリル、充電式インパクトドライバ、充電式丸のこ、充電式ピンネイラ、野菜結束機、誘引結束機、袋とじ機、充電式剪定はさみ、浴室暖房換気乾燥機、24時間換気システム、床暖房システム、ディスプレイシステム、住宅用火災警報器などの製造・販売

国内機工品事業

生産性向上を切り口とした提案活動の推進や組織体制の整備により、鉄筋結束機「ツインタイア」とその消耗品の販売が増加したほか、エアコンプレッサ新製品の販売が引き続き好調に推移しました。

海外機工品事業

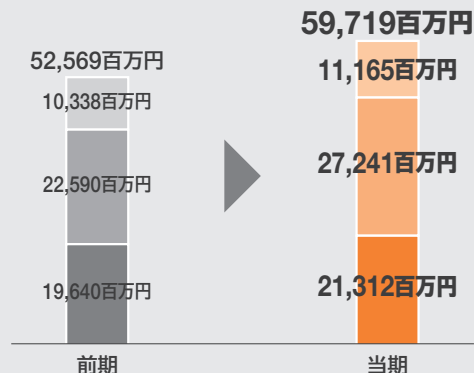
建設現場における人手不足と商業ビルや高速道路など非住宅市場に対する投資が堅調であったことを背景として、鉄筋結束機「ツインタイア」の消耗品の販売が増加しました。

住環境機器事業

主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が、注力しているリフォーム・リプレイスのストック市場で伸長したことに加え、新築住宅市場でも伸長しました。

売上高

住環境機器事業 海外機工品事業 国内機工品事業



TOPICS

充電式鉄筋結束機「TWINTIER (ツインタイア)」

2017年の充電式鉄筋結束機「TWINTIER」発売以降、鉄筋結束機を中心とするコンクリート構造物向け工具の販売は、好調に推移しています。

成長市場である海外では、営業人員の増強、新規ディーラーの設置拡大や既存ディーラーの育成を図ることで、販売力の強化を進めています。国内では、鉄筋結束機の拡販に注力する組織への再編を行うとともに、現場の生産性向上を切り口とした提案活動を推進しています。

当社は、これらの取り組みを通じて、鉄筋結束機事業のさらなる成長を目指します。



HCR (Home Care&Rehabilitation) 機器部門

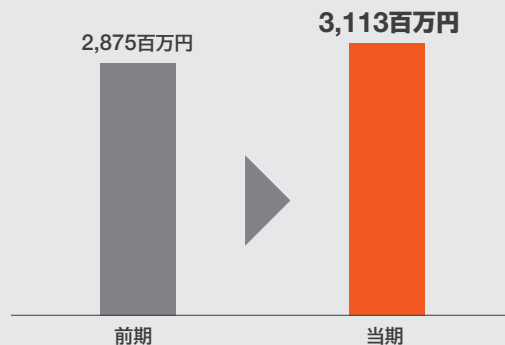
主要な事業内容

車いす、その他福祉用品の製造・販売

HCR機器事業

展示会などを活用した提案により、主力製品である「WAVIT」シリーズの認知度が高まり、レンタル卸向けで車いすの販売が堅調に推移したことから、増収となりました。一方で、円安の影響を受けて、収益性が悪化しました。

売上高



TOPICS

背張り調整ができる標準型車いす「バックス(BACKS)」

チャコールグレーのクッションに加えて、ゆったり座れるように「背張り調整」の機能も付いているアルミ製の標準型車いすです。

背張り調整は、シート背面に持ち手付きの面テープが左右5か所ずつついており、利用者の状態や座り心地にあわせて調整することができます。在宅向けや病院・施設向けなど幅広く活用いただくことが可能です。

サイズは定番の座幅(40cm)×前座高(43cm)、タイヤは空気補充のいらない「ノーパンクタイヤ」でパンクを気にせずにご利用いただけます。



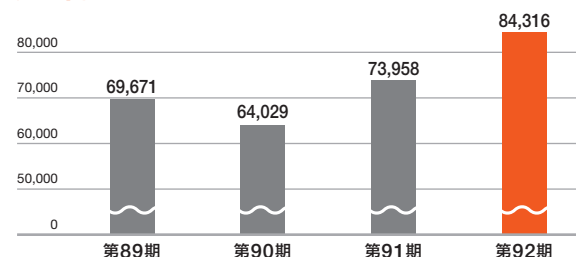
財産及び損益の状況

区分	期別	第89期 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	第90期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	第91期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	第92期(当期) (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高(百万円)		69,671	64,029	73,958	84,316
経常利益(百万円)		7,405	6,826	8,282	10,510
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		5,510	5,153	6,090	7,619
1株当たり当期純利益(円)		112.66	105.79	128.39	161.07
総資産(百万円)		99,378	102,538	109,043	116,742
純資産(百万円)		75,972	78,696	83,136	88,906

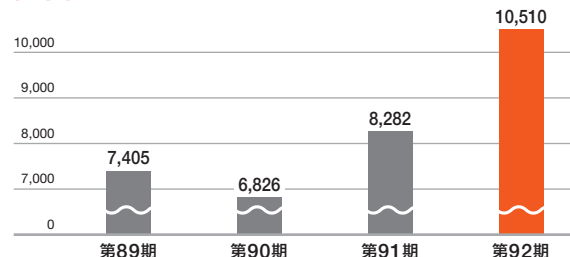
(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第91期の期首から適用しており、第91期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式の総数に基づき算出しております。

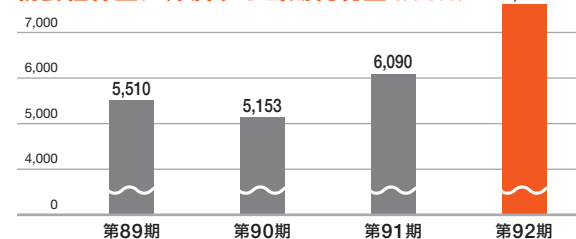
売上高(百万円)



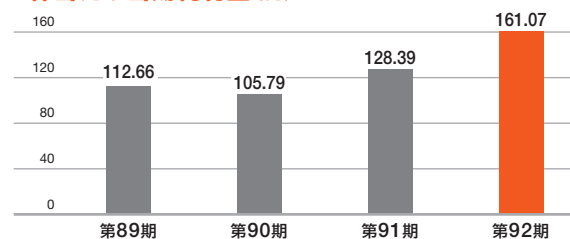
経常利益(百万円)



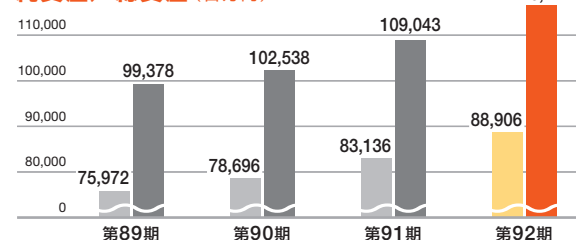
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



1株当たり当期純利益(円)



純資産／総資産(百万円)



2 対処すべき課題

過去最高の連続更新を目指す

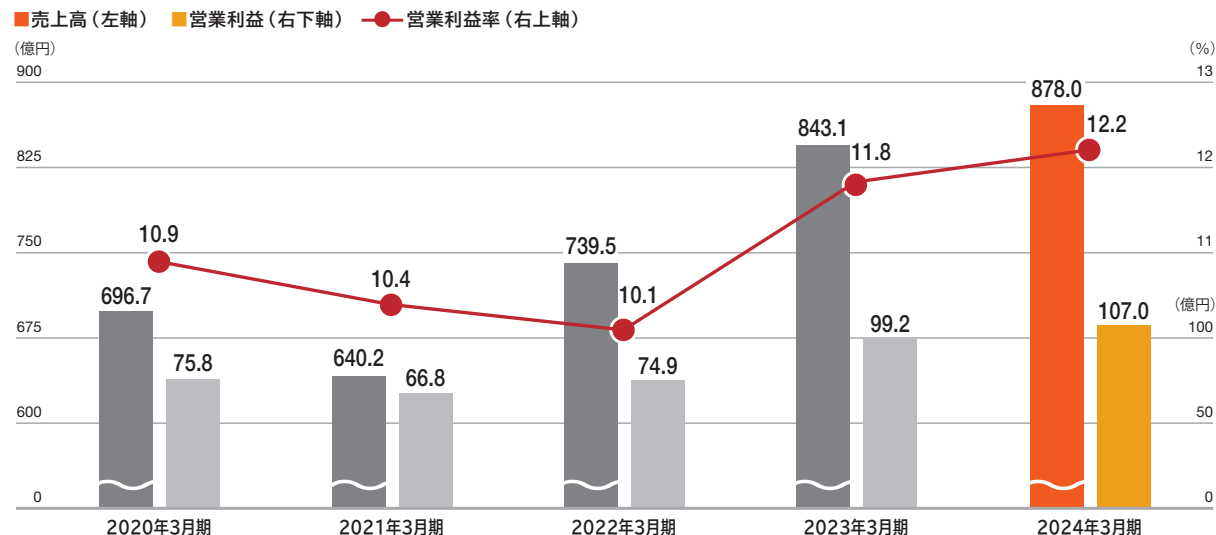
世界経済は、社会経済活動が正常化に向かいながらも、原材料価格の高騰、インフレ等により先行き不透明な状況が続いておりますが、当期は鉄筋結束機事業の伸長により、過去最高の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益を達成することができました。

更なる飛躍に向け、次期事業計画を修正いたしました。鉄筋結束機事業を成長ドライバーとして、売上高及び各利益につき過去最高の更新を狙ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

全社業績指標の推移

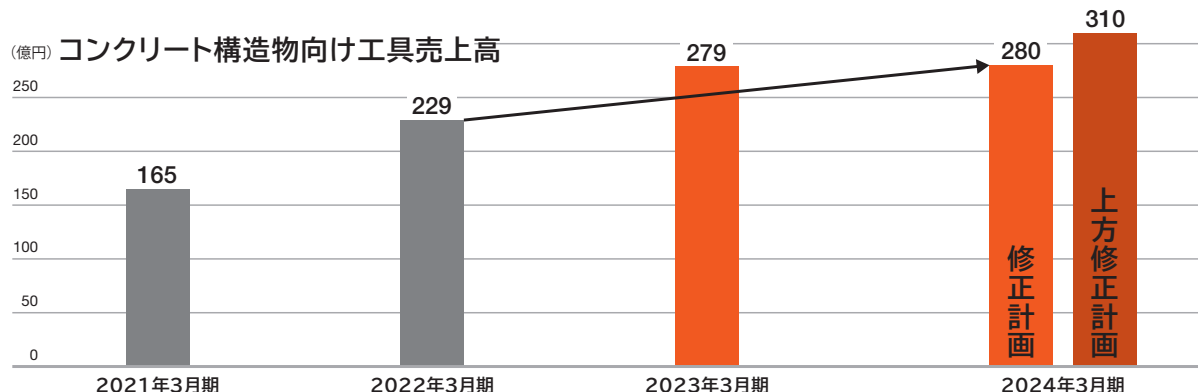
	実績				次期事業計画	
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	増減率(%)
売上高(億円)	696.7	640.2	739.5	843.1	878.0	+4.1
営業利益(億円)	75.8	66.8	74.9	99.2	107.0	+7.8
営業利益率(%)	10.9	10.4	10.1	11.8	12.2	
親会社株主に帰属する当期純利益(億円)	55.1	51.5	60.9	76.1	77.0	+1.1
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	7.4	6.7	7.5	8.9	8.5	



次期事業計画達成に向けた課題

1. 鉄筋結束機事業、海外事業の更なる成長

最重要事業として位置付けた鉄筋結束機事業は、「TWINTIER (ツインタイア)」の発売以来、成長を続けています。鉄筋結束機を含むコンクリート構造物向け工具の当期実績は、当期の修正計画を前倒しでほぼ達成したため、計画を上方修正いたします。欧米での販売網強化、稼働を開始したタイ新工場による確実な供給などを実践してまいります。



2. 国内事業のビジネスモデル変革による収益性維持・向上

オフィス事業は、ビーポップ、食品表示用ラベルプリンタなどの文字表示事業でICTを活用した営業活動の効率化、新たなサポートサービスによる顧客満足向上により収益性を維持します。

機工品事業は、鉄筋結束機事業での土木市場の開拓をさらに進め、コンクリート構造物向け工具の販売拡大を目指します。

住環境機器事業は、浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」でのリフォーム・リプレイスのBtoCストックビジネスの拡大に向け、ICTを活用して、業務の効率化を進めます。

HCR事業は、高付加価値車いすの拡販、海外市場の売上拡大、中国工場の生産性改善により収益性の向上を目指していきます。

3. 新規事業の創出・探索

持続的な事業成長を実現するため、開発本部内に新技術・新規事業を企画する部門、営業本部内に新規事業を推進する部門を置き、新規事業の創出・探索に向けた活動を行います。IoT技術やソフトウェアによる価値創出及び社内公募でのビジネスコンテストなど、将来のマックスの礎となる事業創出に挑戦してまいります。

2. 会社の株式に関する事項

株式の状況（2023年3月31日時点）

(1) 発行可能株式総数	145,983,000株
(2) 発行済株式の総数	47,537,426株
(3) 株主数	6,649名
(4) 単元株式数	100株

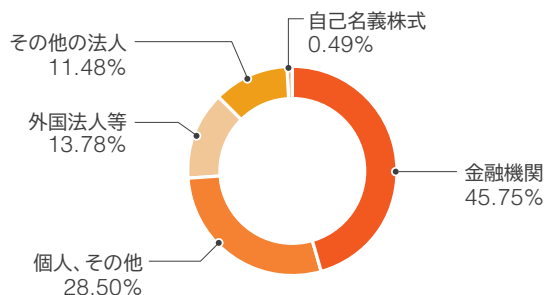
(5) 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	4,284	9.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,180	8.84
マックス共栄会第一持株会	3,909	8.27
日本生命保険相互会社	3,762	7.95
マックス共栄会第二持株会	3,298	6.97
株式会社みずほ銀行	2,234	4.72
株式会社群馬銀行	2,114	4.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,946	4.12
マックス従業員持株会	1,153	2.44
日本製鉄株式会社	1,044	2.21

(注) 持株比率については自己株式235,275株を控除して算出しております。

株式分布状況

(所有者別株式数比率) (2023年3月31日時点)





MAX REPORT

2022年4月1日 ≫ 2023年3月31日

鉄筋結束ワイヤ専用「タイ第3工場」が竣工

この度、鉄筋結束機用結束ワイヤ専用工場として「タイ第3工場」を竣工し、2023年3月16日に竣工式を開催しました。

当社は、2013年に現在の場所でタイ工場の稼働を開始し、以来、オフィス機器、建築・建設用工具の生産を行ってきました。この度、鉄筋結束機の販売数量増加に伴う需要伸長に対応するため、結束ワイヤ専用「タイ第3工場」を増築しました。これにより、鉄筋結束機事業の一層の成長に向け、グローバルに安定的な供給を行う生産体制が整います。

当社の注力事業である鉄筋結束機事業は、2017年「ツインタイヤ」発売を契機として国内外で伸長が続いています。技能者の人手不足と高齢化が憂慮される現在、作業効率化と省人化に加え、就労者の疲労軽減に貢献する鉄筋結束機の需要は、今後もさらに増加することが予測されます。

当社は、これからもお客様の調達ニーズに迅速に対応する生産体制を確立し、鉄筋結束機事業のさらなる成長を目指します。



～生産能力を増強し、伸長する鉄筋結束機事業の需要に対応～

■タイ第3工場の特長

① 鉄筋結束機用結束ワイヤ専用工場

現在、鉄筋結束機用結束ワイヤは国内の工場とタイ第2工場で生産していますが、専用工場のタイ第3工場を増築することで、旺盛な需要に対応できる体制を整えます。

② 将来の需要拡大に対応した生産体制

今回の増築では、現在の生産量（国内＋タイ第2工場）に対し＋25%の供給能力となります。需要状況に応じて、今後、現在の生産量に対し最大＋75%の能力アップを予定しています。

③ 環境に配慮したサステナブルな工場

タイの3工場すべてに太陽光発電設備（出力 約1,000kw）を設置し、工場で使用する年間消費電力の約15%を発電します。また、LED照明を採用し、省エネルギーに努めています。

「タイ第3工場」概要

名称	MAX (THAILAND) CO., LTD. 第3工場
所在地	タイ・チョンブリ県WHAイースタン・シーボード工業団地内
建物面積	約4,800m ²
構造	平屋 鉄骨造
累計投資額	約17億円
稼働開始	2023年3月
生産品目	充電式鉄筋結束機「ツインタイア」シリーズ用 結束ワイヤの生産



サステナビリティ経営の推進

人権の尊重

当社は、人権の尊重をすべての企業に求められるグローバルな行動基準と捉え、「マックスグループ人権方針」を定めています。

創業以来の基本精神である「人間尊重」に基づき、人権を尊重した事業活動を行ってまいりましたが、この人権方針に基づき、これまで以上に人権尊重への取り組みを進め、社会から信頼される企業を目指します。



「マックスグループ人権方針」はこちら

責任ある供給の確保

当社は、原材料や部品などのお取引先を重要なパートナーであると考え、オープンで公正・公平な取引を通じた信頼関係の構築に努め、サプライチェーン全体での責任ある供給の確保を推進しています。

具体的には、「マックスグループ取引先様サステナビリティガイドライン」を策定し、お取引先への周知・浸透を図ることで、お取引先様の仕入先などを含む調達にかかわるサプライチェーン全体での人権尊重、環境保全、法令遵守などの徹底をお願いしています。

当社は、このような責任ある供給の確保の取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



「マックスグループ取引先様サステナビリティガイドライン」はこちら

環境に配慮した紙素材を使用

誘引結束機テープナー用消耗品「紙テープ」

当社は、誘引結束機テープナーの専用消耗品として、環境に配慮した「紙テープ」を発売しました。



これまで使用後のテープは焼却処分されていましたが、焼却が規制される地域も増えています。その場合は、地面に埋める、もしくは拾い集めることになりますが、生産者の埋めることへの抵抗感の高まりや、拾い集める際の手間が課題となっていました。

本製品は、紙素材を使用し、土に埋めると約3ヵ月で分解するため、環境負荷を低減しつつ、これらの課題を解決することが可能です。

当社では、今後もこのような環境配慮型製品の開発に積極的に取り組んでいきます。



第13回 Award Result

マックス「心のホッチキス・ストーリー」

結果発表

募集期間 2022年8月1日（月）～ 2022年9月30日（金）

マックス「心のホッチキス・ストーリー」とは

当社は、“あなたが今、心にホッチキスしたいこと”をテーマに「今の幸せ」「家族の絆」「友だちとの思い出」などいつまでも心にとどめておきたい思いや出来事を毎年募集しています。

2010年よりスタートしたこの企画。累計応募総数は117,073件となりました。

また、今回から文部科学省後援事業にも認定されました。



第13回 マックス・心のホッチキス大賞

ひまち さん（大阪府 / 14歳）

「今年な、花火大会あるんやって！」コロナ禍でのその言葉は、私を二ヶ月前から奮い立たせるほどの効き目があった。「浴衣着たいから買ってよ。」と母に早速お願いした。「浴衣やったら私のがあるで、それ着ていきなさい。ひいおばあちゃんも、おばあちゃんも着たんやで。」買おうと思う浴衣まで決めていた私にとって、古くて好みの柄でもない浴衣は受け入れられず、母と私は浴衣買うかをめぐって冷戦状態に陥った。

夏休みの帰省中、祖母が私に「これ絶対似合うわ。持って帰りね。」と母が中学生の頃着ていたという服を渡してきた。浴衣のことでなぜ母がおれないのか気になっていた私は、「おばあちゃんもそうやけど、なんでそんなにおさがり渡してくるん。古いのじゃなくて新しいのがいいんやけど。」と言ってみた。祖母はこんな話をしてくれた。「おさがりってな、ええもんやねんで。長くもってるってことやから。可愛いもんも、新しいもんもええもんやけど、一番長持ちするのがいっぱいばええもんやと思うねん。大事にされてきたし、大切な想いがこめられてる証拠やから

ねえ、そういう想いも一緒に受け継いでいくのがおさがりやから、着てほしい人に渡すんやで。」私はいてもたってもいられなくなって急いで母に電話した。「浴衣、お母さんのにするから！」「いきなりなんなん…？」驚いていたけど、私の気持ちが伝わったようで嬉しそうだった。

花火大会当日、着付けをしてくれた母に向かって「ありがとう！行ってきます！」と言って家を出た。今日私はお母さんや、おばあちゃんや、ひいおばあちゃんの大切な想いを着て花火大会に行くんだと言葉にならない誇らしさで胸が高鳴った。

おさがりって一番気持ちの込められたプレゼントかもしれない。四世代目に渡った浴衣のリレーはきっとこれからも続いていく。



詳しくは
「心のホッチキス」で
検索

心のホッチキス



MAX NEWS

充電式袋とじ機「モバイルパックナー」

電源コンセント不要の充電式
持ち運びやすく、狭いスペースでも
作業が可能



商品の特長

袋とじ機として当社初の充電式モデルで、電源コンセントのない場所でも作業ができるようになりました。本体は軽量かつコンパクトで、持ち運びやすく、狭いスペースでの作業も快適に行うことができます。

1充電で約5,000回の連続作業が可能、袋やネットを軽くひねりながら差し込むだけで結束できるため、疲れにくく、習熟度にかかわらず、簡単に均一な袋とじ作業ができます。

会社創立80周年記念イベントを開催

●「ホッチキス デザイン総選挙」

ロングセラーホッチキス「サクリフラット」に採用してほしいデザインテーマを選んで投票していただき、第1位となったデザインテーマ「レトロ喫茶」のホッチキスを数量限定で発売しました。

●「あなたが選ぶ 推しホッチキス Festival」

ハンディホッチキス18シリーズから、一推しのシリーズを選んでいただき、一番人気のホッチキスシリーズを決定する企画です。

第1位は「シリコンカバーホッチキス りくちのいきもの」でした。



利益分配に関する基本方針と配当について

■ 利益分配に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置付け、利益分配に関する基本方針を「事業活動による利益を持続的な成長により拡大し、長期安定的に利益分配を行うこと」としています。

当社の配当政策は、「連結決算を基準に、純資産配当率3.5%を下限として配当性向50%を目指す」と定めています。

当期の配当につきましては、前期から14円増配の「1株当たり年間配当金78円」を予定しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (受付時間 9:00～17:00 (土・日・休日を除く))
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
単元株式数	100株
公告の方法	当社ホームページに掲載いたします。 https://www.max-ltd.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京